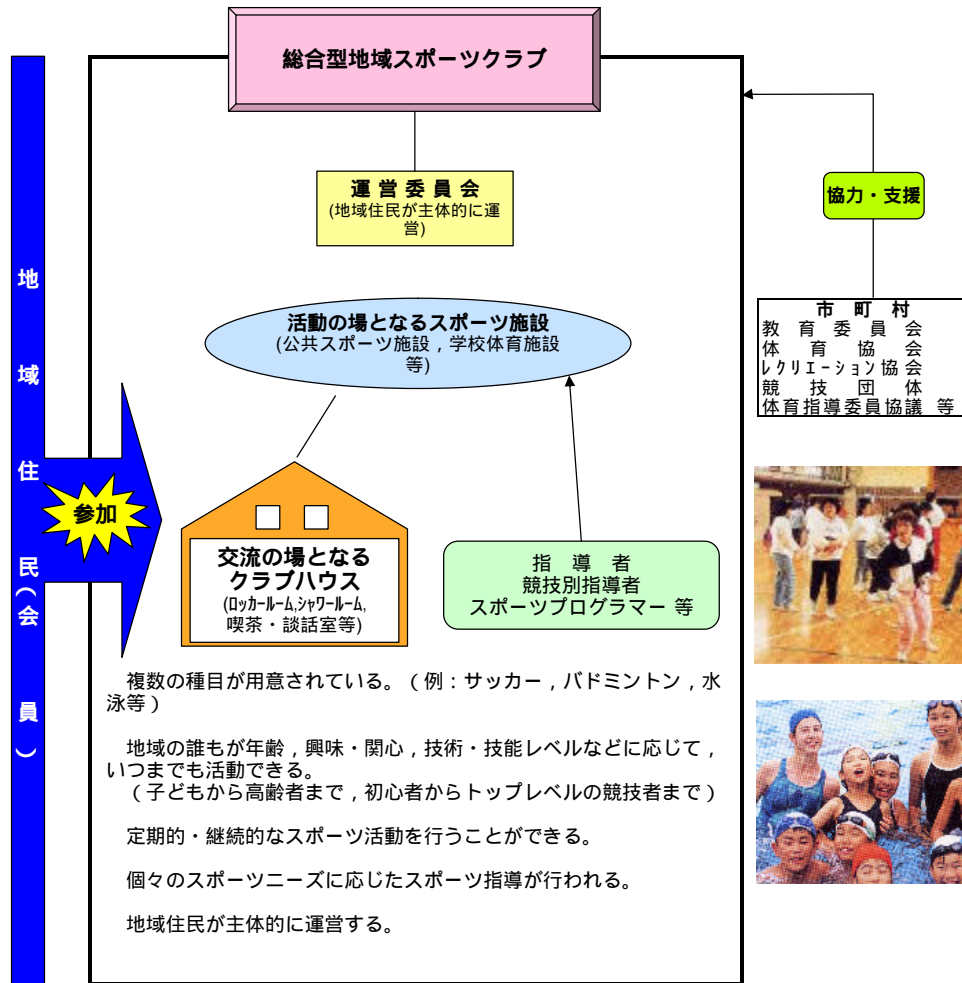


事業名	生涯スポーツ社会の実現
主管課及び関係課(課長名)	スポーツ・青少年局生涯スポーツ課(課長:岩上 安孝)
上位施策目標	<p>施策目標 7 - 1 生涯スポーツ社会の実現</p> <p>達成目標 7 - 1 - 1 成人の週一回以上のスポーツ実施率を50%以上とする。</p> <p>達成目標 7 - 1 - 2 全国の各市町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成する。</p> <p>達成目標 7 - 1 - 4 総合型地域スポーツクラブの運営を担う人材の育成のため、クラブマネージャー養成講習会を実施し、100名以上の参加者を得る。</p> <p>達成目標 7 - 1 - 5 生涯スポーツコンベンションを開催し、意見交換会やシンポジウム等を通じて生涯スポーツの振興を担う関係者の連携・協力を図る。</p> <p>達成目標 7 - 1 - 6 各都道府県において少なくとも一つは広域スポーツセンターを育成する。</p> <p>達成目標 7 - 1 - 7 全国の半分以上の都道府県において広域スポーツセンター育成モデル事業を実施する。</p>
事業の概要	<p>国民の誰もが身近にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現に向け、地域住民が日常的にスポーツを行う場となる総合型地域スポーツクラブの全国展開を推進するなど、スポーツ環境の整備を計画的に推進する。具体的には引き続き広域スポーツセンター育成モデル事業を推進するとともに、民間スポーツ団体の活用による地域住民の主体性をより発揮した総合型地域スポーツクラブの育成を推進し(総合型地域スポーツクラブ育成推進事業)、既に設置されている広域スポーツセンターの活動を支援する(広域スポーツセンター活動支援事業)ことにより、効果的な総合型地域スポーツクラブの育成を推進する。</p>
予算額及び事業開始年度	平成16年度概算要求額:1,974百万円(平成15年度予算額1,041百万円) 事業開始年度:平成元年度
必要性	<p>我が国の成人の週一回以上のスポーツ実施率は約37%と50%を超える欧州諸国に比べて低い状況にあり、誰でも、いつでも、いつまでもスポーツに親しめる環境づくりが必要である。</p> <p>文部科学省では平成12年9月に策定された「スポーツ振興基本計画」に基づき、生涯スポーツ社会の実現に向け、各種施策を展開しており、その中心的な施策として総合型地域スポーツクラブの全国展開を推進するとともに、その育成を支援する広域スポーツセンターの育成を進めているところである。現在、総合型地域スポーツクラブは地域に根差したクラブとして定着しつつあり、広域スポーツセンターが設置されている県においては、設置されていない県よりも総合型地域スポーツクラブの創設が進んでいるという効果も見られている。</p> <p>現在、少子・高齢化の進展や地域コミュニティの弱まりなどにより、青少年の問題行動、子どもたちの社会性の低下や地域活力の低下など様々な問題が引き起こされており、総合型地域スポーツクラブについては、スポーツ活動を通じた家族のふれあいや世代間交流による青少年の健全育成、子どもたちの居場所づくりや地域教育力の再生などに大きな役割を果たす地域住民の交流の場としての機能も期待されており、今後はこれらの育成をより一層推進していく必要がある。</p>
効率性	<p>総合型地域スポーツクラブ育成推進事業においては、民間スポーツ団体を活用することにより、効果的な事業の展開が期待できる。また、広域スポーツセンター活動支援事業については、既に設置されている広域スポーツセンターの活動を支援することにより、効果的な総合型地域スポーツクラブの育成の推進が期待できる。</p>
有効	<p>達成効果の把握の仕方(検証の手順)</p> <p>総合型地域スポーツクラブの育成状況を調査。</p>

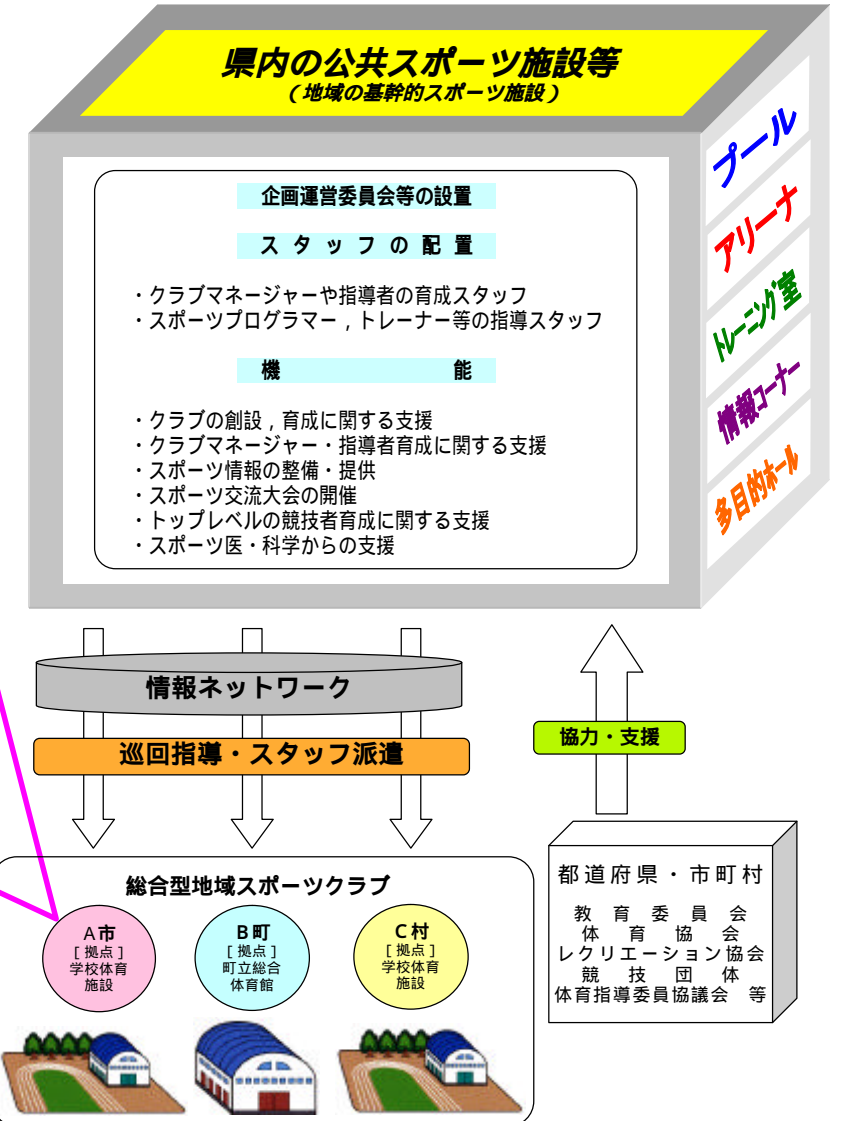
性 得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準)	これまで総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業や広域スポーツセンター育成モデル事業などの実施により、地域に根差した総合型地域スポーツクラブとして定着しつつある。今後も当該事業の更なる拡充により、その育成が促進されるものと考えられる。	
得ようとする効果及び達成年度	「スポーツ振興基本計画」においては平成22年度までに全国の各区市町村に少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成することが到達目標とされており、その達成に向けた総合型地域スポーツクラブの育成を推進する。	達成年度 平成22年度
備考	平成7年度より実施してきた総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業は、スポーツ振興くじ助成への財源移行に伴い平成15年度をもって終了している。	

生涯スポーツ社会の実現（総合型クラブと広域スポーツセンターの役割）

総合型地域スポーツクラブの育成



広域スポーツセンターの育成



総合型地域スポーツクラブの育成・支援

スポーツをめぐる現状

運動不足
・週1回以上スポーツ実施率37%

子供の体力低下
・S60年代以降下降傾向

従来の学校・企業を中心としたスポーツ振興の限界
・既存のスポーツの場では年齢・種目が限定される
・スポーツをする子としない子の二極化

わが国の地域社会をめぐる現状

少子・高齢化社会の進展

地域コミュニティの弱まり (都市化の進展)

・子供たちの社会性の低下
・地域における人間関係の希薄化等が様々な問題を惹起
(
・青少年の問題行動
・子供たちの遊び場の欠如
・地域活力の低下
)

誰でも、いつでも、いつまでもスポーツができる環境づくり
地域コミュニティが従来有していた機能の再構築
が必要

着実な推進

総合型地域スポーツクラブ
(多様性・多世代)

健康の保持・増進、
体力の向上

家族のふれあい
や世代間交流による
青少年の健全育成

子どもの居場所づくり
(放課後・学校週5日制の受け皿)

人間関係の再構築
(地域教育力の再生)

スポーツ振興基本計画

2010年(平成22年)までに、全国の各市町村において少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを育成する。